

# 令和3年度 磐田市立豊岡中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	1学期 数値%	2学期 数値%	自己 評価	考察	学校関係者評価委員から
自立した 心豊かな 人を育成 する (真理)	確かな学力づくり	「授業の内容がよくわかる」と答える生徒92%	92	89	B	○新学習指導要領の全面実施に対応した授業改善(指導と評価の一体化)に取り組み、一人一台端末の効果的な活用等で一定の成果をあげることができた。今後も継続した研修・取組を行っていきたい。 ○道徳研究で得られた知見を教科指導にも取り入れ、生徒の思考を助けたり、教員の生徒の見取りをしやすくしたりすることができた。	○コロナ禍において授業形態や活動内容が制限される中、若手教員を中心に今年度から導入された一人一台PCを積極的に活用している様子や、生徒が明るい表情で真剣に学習へ取り組んでいる様子から良好な学校運営を認識している。 ※生徒が互いに関わり合いながら、個性を伸ばさせることを願うとともに、先生方の更なる尽力を期待している。
		「道徳を含む授業が楽しい」と答える生徒92%	92	95	A		
	人間尊重を基盤とした人づくり、学級・学年・学校づくり	「学校生活が楽しい」と答える生徒95%	93	92	B	○普段の生徒指導に加え、ハイパーQU検査やレジリエンス検査(今年度より実施)などを活用した深い生徒理解に努めることができた。生徒一人一人にとって安心・安全な環境が構築され、生徒が仲間と協力しながら思いやりの心をもって生活する様子が様々な場面で見られた。 ○教育相談や三者面談、保護者面談等で生徒や保護者の気持ちに寄り添う指導ができた。様々な背景をもつ多様な生徒への指導・支援を充実させていくことをより一層大切にしていきたい。	○日頃の生徒指導に加え、深い生徒理解を目指した教育活動(ハイパーQU調査や今年度から取り入れたレジリエンス調査を生かした取組)等が成果をあげ、生徒間、生徒と教員の間に良好な関係が築かれていることを実感している。今後も、生徒が安心して自分自身を成長させられる環境の構築に努めてほしいと願っている。 ○不登校生徒や不登校傾向の生徒を含め、誰一人取り残さないという姿勢や取組、生徒一人一人の疾病やアレルギー等に対応した取組の継続も期待している。
		「互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」と答える生徒95%	95	98	A		
	一人一人が安全・安心を感じる環境づくり	「わたしたちの学校には安心・安全な環境がある」と答える生徒95%	97	98	A		
	共に よく 生きて いく 人間 関係 を 築く 人 を 育 成 す る (友愛)	主体的なコミュニケーションづくり	「誰にでも挨拶し、返し、コミュニケーションをとろうと」と答える生徒92%	93	96	A	○生徒、教師、地域の信頼関係の維持が継続され、挨拶が習慣化されている。また、挨拶が良好な人間関係構築に繋がることを実感している生徒が多い。 ○学級力向上を目指した一連の取組(PDCAサイクルを意識したアンケート&話し合い活動)によって生徒の自治的活動が高まり、主体的な取組を創出することができた。
身に付けた力を周りの人のために役立てる力づくり		「まわりの人の役に立ったり、周りの人から感謝されたりしたことがある」と答える生徒92%	92	94	A		
夢や希望 に向か って挑 戦し 続け る人 を育 成す る (挑戦)	自己の可能性を広げ、夢を育む環境づくり	「夢や目標をもって学校生活を送っている」と答える生徒92%	90	91	B	○学校生活における様々な活動でPDCAサイクルを意識した活動が行われることで、目標を達成しようとする意欲的に取り組む生徒が増えてきている。 ※コロナ禍によって、部活動の対外試合やボランティア、地域活動が中止となり、校外で活動する場面は減少した。豊岡地区の魅力や自分自身に関わる身近な方への感謝の気持ちを認識できる場面を意図的に作っていききたい。	○生徒が生き生きと活躍している様子(学習や部活動等)を学校便りや映像資料を通して知ることができてうれしい。 ※交流センターまつりや祭典、防災訓練などの地域の行事にも積極的に参加し、これからの地域を背負っていく人材として、地域と関わりながらまっすぐ成長することを期待している。
		「ボランティア活動や地域活動へ積極的に参加している」と答える生徒80%	77	77	B		

## 学校関係者評価を受けてのまとめ

本年度の教育実践について、評価と承認を得た。潤いと活力に満ちた学校を学校経営目標に掲げ、学校目標に示された主体性やたくましさを育む教育活動を教職員一丸となつて行っていききたい。また、こ幼小中学校の連携を一層推進し、12年間を通して豊岡地区の子供を育てていきたい。今後もこれまで本校が大切にしてきた「子どもを大切に」「地域に根ざした」教育活動を推進・実践していく所存である。